

各学科等の教員養成に対する理念及び設置の趣旨等

法学部法律学科（中一種免（社会）・高一種免（公民））

本学科では、急速なグローバル化を背景とした知識基盤社会の到来とさらなる情報化の進展を前提として、国際社会における日本の位置づけと役割を理解し、主体的な社会参加と意思決定ができる能力を持った人材を育成できるような教員の養成を目指す。これに加え特に本学科では憲法に内在する価値を十分に理解し、それを中高生に伝えることができる実践力とコミュニケーション能力を有する教員を養成することを目的とする。より具体的には、高校公民については、高い人権意識と国際感覚の獲得、そして主体的に社会に参画できる公民を育成できる教員、中学社会については、中学生に対して、社会的事象に対する基礎的・基本的知識を確実に教授でき、多面的・多角的観点から分析・考察できるよう指導が行えるような、専門知識と技能を持つ教員の養成を目的とする。

スポーツ健康政策学部スポーツ教育学科（小一種免・中一種免（保健体育）・高一種免（保健体育））

本学科は学校教員としての必須の学問はもとより、特に、体育・スポーツ・健康にかかわる専門分野の知識・技能や最新の知見を身に付けた小学校教員、中学・高等学校の保健体育科教員の養成、さらには児童生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できるような確かな指導が行える教員の養成を目指す。授業科目としては、保健授業及び体育授業における実践的な指導力の育成を目的に模擬授業を展開する保健体育科教育学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等を設定するとともに、小学校教員としての高い力量形成を目指した各教科指導法に力点を置いて指導している。とりわけ、体力低下に悩む教育現場にとって、スポーツ教育に精通した小学校教員の育成は貴重な存在になろう。

スポーツ健康政策学部スポーツテクノロジー学科（中一種免（保健体育）・高一種免（保健体育））

本学科は身体に関わる機能・構造を理解し、身体運動を分析・評価するとともに安全で効果的な運動やスポーツ指導ができることに加え、生徒が生涯を通じて自らの健康を適切に管理改善することができるような確かな指導が行える教員の養成を目指す。本学科の特徴に学科名称であるスポーツテクノロジーを利用した画像・映像からの身体動作やゲーム分析、筋力や各種生体計測など専門機器の知識、技術の修得がある。今日の教育現場では IT 機器による授業も増加し生徒の理解を補助、促進しており、本学科の専門性を生かすことでより効果的な教育指導を行うことを目指す。合わせて健康や安全に対する知識や実践の出来る生徒の育成に貢献できる教員を養成するため、本学科に教職課程を設置したものである。

スポーツ健康政策学部スポーツ健康政策学科（中一種免（保健体育）・高一種免（保健体育））

本学科は文化スポーツや健康に関する幅広い知識・技能を身に付けた人材の養成をねらいとしており、これらの専門的知見等を生かして教育が抱える諸課題を解決できるとともに、我が国の将来を担う生徒たちの健全な育成に貢献できる教員、運動やスポーツの楽しさや喜びを生徒たちに伝えることができ、身体を使って人と人、人と社会をつなぐことができる教員を育成することを目指す。本学科ではスポーツと国際関係、スポーツと政治、文化政策などについても学ぶが、ここで培われた能力を教職に生かすことを目指している。本学科の専門性を生かした教育指導を行うことで、今日的教育課題に対応することはもとより、心身とも豊かでたくましい生徒の育成に貢献できる教員を養成するため、本学科に教職課程を設置したものである。